第 33 期　第５回静岡県青少年環境整備審議会会議録（要旨）

第２部会第４分科会（図書）

日　時	令和８年 10 月９日（金）午後１時 30 分から午後２時 45 分まで
場　所	県庁西館７階　教育委員控室
出席者 職氏名	委　員　　池田まり子(分科会長)、今岡多恵、夏目聡美、原田雅樹 三井長次 事務局　　社会教育課

１　受付、出席者の確認

２　定数確認

委員総数５人中５人の出席により、委員の半数以上が出席したため、審議会規則の規定に基づき、会の成立が確認された。

３　議事

(1)優良図書推奨諮問に関する審議

委員：各委員の意見を踏まえながら、推奨可否、推奨対象、推奨基準を決定していく。

ア　図書名「ヨークシャーの丘の幽霊」

(ｱ)　審議内容

委員：推奨する。家族との絆を描く生と死の物語で、作者の得意とするミステリアスな作品です。社会問題も網羅され、イギリスらしさを感じる。失業問題や産業革命とか、父親が失業する社会背景がありながら、それでも最後は根底のところで人間の本質、優しさの本質を描かれた優しい本でした。推奨対象は小学校高学年、中学生、推奨基準は(2)(5)

委員：推奨する。思春期を迎え、自身のアイデンティティに悩み始める世代にこそ薦めたいと思いました。家族それぞれの葛藤や日常のすれ違いを描きつつ、目に見えない絆の本質を問いかけていて、心の余裕をなくし、互いに不満や苛立ちをぶつけ合ってしまう日常の裏側で、深いところで強く結びついている家族の温かさに気づかせてくれる。多角的な視点から生と家族のつながりを深掘りする本作は、県推薦図書としてふさわしいと思う。推奨対象は小学校高学年、中学生、推奨基準は(1)（2）(5)

委員：推奨する。物語の結末で明らかになる事実を通して、命のかけがえのなさとともに、何があっても家族は家族であり続けることが描かれている点が印象的でした。家族一人ひとりがそれぞれの立場で葛藤を抱えていて、こうした家族の姿に触れることで、読者となる青少年が自分の家族の思いを知るヒントを得られるのではないかと考えます。推奨対象は小学校高学年、中学生、推奨基準は(5)

委員：それでは推奨するとし、推奨対象は小学校高学年。推奨基準は(1)(2)(5)とする。

委員：異議なし。

(ｲ)　答申

a　推奨可否　推奨する
b　推奨対象　小学校高学年
c　推奨基準　(1) (2) (5)

イ　図書名「まぼろしの動物ニホンオオカミ」
(ｱ)　審議内容
委員：推奨する。この本の最大の魅力は、小学生でも本物の研究ができるということを具体的に示している点にあります。単に動物の知識を紹介するものではなく、疑問を持つこと、自分で調べること、図書館を利用すること、専門家の助言を受けること、調査結果をまとめること、という学習の過程そのものをこどもたちに伝えています。児童の「なぜだろう」という疑問を大切にし、探究心や科学的思考を育む優れたノンフィクション作品であり、また、自然環境や絶滅動物について学ぶ機会にもなり、青少年健全育成の観点からも推奨する意義の大きい一冊である。推奨対象は中学生、推奨基準は(3) (4)
委員：推奨する。身近な疑問を出発点に資料を調べ、専門家の助言を受けながら探究を続ける姿勢が、こどもの学ぶ意欲を引き出すために有益であると感じました。「好き」「知りたい」という気持ちを継続的な調査へと結び付ける過程に価値がある。動物や絶滅について学ぶとともに、根拠を確かめながら考える姿勢や、自分の考えをまとめて伝える姿勢を育む図書として推奨します。推奨対象は小学校中学年、小学校高学年、中学生、推奨基準は(3) (4)
委員：推奨する。自分の「好き」を大切にし、論文まで書き上げる姿がとても印象的でした。「好き」という気持ちを持ち、諦めずに追求することが、様々な人とのつながりを生み、大きなことを成し遂げることにつながるという実話は、こどもたちに希望を与えると考えました。また、調べ学習の進め方がわかりやすく丁寧に描かれているため、小学生だけでなく中学生にとっても学習のヒントになると思いました。推奨対象は小学校中学年、小学校高学年、中学生、推奨基準は(3) (4)
委員：すごく読みやすかった。科学って「気づく」っていう視点から始まっているので、そういう意味でも客観性がすごくいいと思いました。

委員：それでは推奨するとし、推奨対象は小学校中学年、推奨基準は(3) (4)とする。
委員：異議なし。
(ｲ)　答申
a　推奨可否　推奨する
b　推奨対象　小学校中学年
c　推奨基準　(3) (4)

ウ　図書名「怪談、こわくて不思議な 10 の話」
(ｱ)　審議内容
委員：推奨する。手に取った時、「読みやすい」と思ったのは行間スペースの設定だった。古い日本の風土や文化を愛して、海外に初めて日本の文化

を紹介した小泉八雲は、静岡、特に焼津に縁がある人なので、日本の怪談を是非、語り継いで欲しいと願う。推奨対象は中学生、高校生、推奨基準は(2)(5)

委員：推奨する。日本を代表する怪談文学を現代のこどもたちに親しみやすい形で紹介した短編集で、恐怖を楽しむだけでなく、日本の伝統文化や古典文学への理解を深め、想像力や読解力を育む教育的価値があると考えます。推奨対象は小学校中学年、推奨基準は（2）(6)

委員：推奨する。怖さや不思議さへの関心を入り口として、語り継がれてきた物語と文学に親しめる作品である。登場人物の余韻を味わうことは、想像力や感受性を豊かにする機会になる。声に出して読む楽しみも期待でき、読書の幅を広げる図書として推奨する。推奨対象は小学校高学年、中学生、推奨基準は（2）(7)

委員：それほど生々しい表現もないように感じました。こどもの健全な成長のためには、昔からいわれているお話などを読むことはとても大事だと思います。小学校中学年では怖がる子もいるかと思うので、小学校高学年は大丈夫かと思います。

委員：いくつかのお話があって、こどもが本当に飽きずに読めるという点がすごく大事と思いました。

委員：それでは推奨するとし、推奨対象は小学校高学年、推奨基準は(2)(5)(6)とする。

委員：異議なし。

(ｲ)　答申

a　推奨可否　推奨する

b　推奨対象　小学校高学年

c　推奨基準　(2)(5)(6)

エ　図書名「ある星の汽車」

(ｱ)　審議内容

委員：推奨する。写実的で鉛筆画で描かれている。地球の汽車に絶滅種、絶滅危惧種の動物たちと人間の親子が乗り合わせている。下車する駅は、絶滅年を表し、地球環境の未来に警鐘を鳴らしている。このメッセージは10代の心に響く稀有な作品と感じる。推奨対象は中学生、高校生、推奨基準は（1）

委員：推奨する。緻密で美しい絵と深いストーリーが心に響き、環境問題について考えるきっかけをくれる優れた絵本です。細部まで正確に描かれた動物たちのリアルな絵は美しく、思わず目を奪われてしまう。汽車が止まる度に寂しそうに降りていく動物たちが絶滅危惧種だと気づいた時、物語の深い意味にハッとさせられます。未来へ走る汽車の中には人間の姿もあり、少ない言葉だからこそ、命の大切さや地球の未来について深く考えさせられる、推奨にふさわしい本だと思います。推奨対象は小学校高学年、推奨基準は（1）

委員：推奨する。絵を見てハッとしました。単に絶滅動物の知識を教える本ではなく、「もう二度と会うことのできない命」を一人ひとりの乗客との

別れという風に表現しており、こどもたちは自然と命の尊さや、生物多様性の大切さについて考える事ができます。直接的な教訓を押しつけるのではなく、読んだ後に静かな感動と問題点を残す構成は、小学校高学年の発達段階に適しており、推奨できる作品と思います。推奨対象は小学校高学年、推奨基準は(1)(7)

委員：絵がきれいで、隠されたストーリーというか、読んでいてすごく面白いと思いました。

委員：本当にきれいな絵で、すごく引き込まれてしまいます。

委員：それでは推奨するとし、推奨対象は小学校高学年、推奨基準は(1)(7)とする。

委員：異議なし。

(ｲ)　答申

ａ　推奨可否　推奨する

ｂ　推奨対象　小学校高学年

ｃ　推奨基準　(1)(7)

オ　図書名「ひぐま」

(ｱ)　審議内容

委員：推奨する。近年、クマによる被害が報道され危険な側面ばかりが強調されがちですが、本書は、人間本位の視点から離れ、野生動物もまた命を育み必死に生きている存在であることを力強く伝えています。ダイナミックで美しい絵とともに描かれているひぐまの姿は、読者に命の尊さを実感させ、自然や動物との適切な関わり方について改めて考えるきっかけを与えてくれるように思います。今こそ、こどもたちはもちろん大人にも読んでもらいたい、生命への敬意と豊かな感性を育む優れた本だと思います。推奨対象は小学校低学年、推奨基準は(1)

委員：推奨する。季節の移り変わりの中で、ひぐまが命を育む姿を描き、生命の尊さや野生動物の生態への関心を育てる作品として評価する。クマ被害への不安や被害に遭われた方々の心情には十分配慮する必要があるが、野生動物の命の営みを理解することと人の安全を守ることは両立するというところで考えています。推奨対象は幼児、推奨基準は(1)(3)

委員：実際に目にすることのできないひぐまの巣穴の中での子育ての様子が描かれており、大変興味深く感じた。人間以外の動物も愛情をもって育てられていることを知ることは、命の尊さに気づき、他者を思いやる心を育てることにつながる。また、自分自身も大切に育てられていることを感じ取るきっかけにもなる。推奨対象は幼児、小学校低学年、小学校中学年、推奨基準は(1)(2)

委員：それでは推奨するとし、推奨対象は幼児、推奨基準は(1)(2)(3)とする。

委員：異議なし。

(ｲ)　答申

ａ　推奨可否　推奨する

ｂ　推奨対象　幼児

c　推奨基準　(1)(2)(3)

カ　図書名「あの、ここどうぞ」

(ｱ)　審議内容

委員：推奨する。身近な電車の中の人間模様が描かれている絵本。女の子が席を譲りたいが勇気が出ない、という初めての経験を父親が何気なくフォローする姿が微笑ましい。こどもの視点で描かれていることに好感が持てました。推奨対象は小学校低学年、推奨基準は(2)(6)

委員：推奨する。登場人物が全員優しく、こどもが思いやりの心を自然と学べる心温まる一冊です。特筆すべきは主人公の女の子の目線に寄り添った絵の構図です。読み手も自然と女の子と同じ視野で周囲の人々を見つめることになり、まるでその場にいて優しさの連鎖を体験しているかのような錯覚になります。他者への配慮や温かい思いやりを自分事として感じ取れる本作は、こどもの豊かな感性を育む優良図書にふさわしいと思います。推奨対象は小学校低学年、推奨基準は(2)(4)(6)

委員：推奨する。電車で席を譲るという身近な場面を通じて、相手を思いやる気持ちと、それを行動に移す勇気について考えられる作品だと思いました。声をかけたいのにためらってしまう主人公の気持ちは、こどもにも共感しやすい。周囲の人の状況に目を向け、自分にできることを考えるきっかけとなり、公共の場での配慮を育む図書として推奨します。推奨対象は小学校低学年、推奨基準は(2)(6)

委員：それでは推奨するとし、推奨対象は小学校低学年、推奨基準(2)(4)(6)とする。

委員：異議なし。

(ｲ)　答申

a　推奨可否　推奨する

b　推奨対象　小学校低学年

c　推奨基準　(2)(4)(6)

キ　図書名「ぴたっと　どうぶつ」

(ｱ)　審議内容

委員：推奨する。こどもが大好きな積み木やブロック遊びのように、形の見立てを楽しみながら親しめる一冊です。様々な形が合わさる展開を通じて、幼少期に大切な豊かな創造力を自然と育むことができると思います。また、繰り返し「ぴたっと」という心地良い言葉の響きは、乳幼児に強い安心感と親しみを与えてくれます。見る楽しさと聴く心地良さがそろっている。推奨対象は幼児、推奨基準は(7)

委員：推奨する。ばらばらの形が集まって動物になる展開により、ページをめくる楽しさと発見の喜びを味わえる作品と思いました。色や形を見て「何になるんだろう」と想像することが、観察や認識の芽生えにつながる。読み手とこどもが声を交わしながら楽しめる。推奨対象は幼児、推奨基準は(3)

委員：推奨する。ばらばらのピースが「しゅうごーう！」のかけ声とともに集まり、身近な動物に「ぴたっと」変身する絵本で、擬音語などを手がかりにどんな動物になるかを想像する面白さがある。親子でかけ声を合わせたり、「何の動物かな」と言葉を交わしながら楽しむことができ、親子の触れ合うきっかけとなる一冊である。推奨対象は幼児、推奨基準は(7)

委員：それでは推奨するとし、推奨対象は幼児、推奨基準は(3)(7)とする。
委員：異議なし。
(ｲ)　答申
　a　推奨可否　推奨する
　b　推奨対象　幼児
　c　推奨基準　(3)(7)

ク　図書名「ピーマンマンとてんさいむしばきん」
(ｱ)　審議内容
委員：推奨にあたらない。おやつを食べて、歯磨きしないで寝てしまったピーマンマンが、野菜たちの歯磨きで虫歯菌を退治する話なのですが、ピーマンマンシリーズは 40 年くらい続いているのですが、歯磨きしないとバイキンくんが来るよ、っていう教訓的かなと思いました。本来の本の楽しさ、奥深さを伝えるという意味とは違うと思いました。
委員：推奨する。こどもが親しみやすいキャラクターを通して、甘いものの食べ過ぎ、歯磨きの大切さ、外遊びや体を動かすこと、ゲームとの上手な付き合い方を自然に学べる内容となっていて、説教的ではなく、虫歯菌とのやり取りをユーモラスに描いているため、こどもが楽しみながら読み進められる点が優れています。推奨対象は幼児、推奨基準は(3)
委員：推奨する。元気の味方であるピーマンマンが、お菓子をだらだら食べる、外遊びをせずにゲームばかりする、歯磨きをしない、といった生活をしている様子は、こどもたちに衝撃を与えると同時に親しみを持たせるのではないかと思いました。正しい知識をリズム感のよい文章で楽しみながら知ることが出来る点がとても良い。推奨対象は幼児、小学校低学年、推奨基準は(3)
委員：図版の構成が過密であり、文字サイズも小さい。物語を味わうというよりも、学習的な側面が強い様に感じられた。

委員：歯磨き習慣の定着には有用だと思うが、本審議会の優良図書にはあたらないと考えます。
委員：異議なし。
(ｲ)　答申
　a　推奨可否　推奨にはあたらない
　b　推奨対象
　c　推奨基準

※　静岡県青少年のための良好な環境整備に関する条例による推奨基準
(1)　生命を尊重する心を育むもの
(2)　他人を思いやる心や感動する心などを豊かな人間性を育むもの
(3)　正しい知識や技能を習得し、活用する力を育むもの
(4)　自ら学び、考え、責任ある行動がとれる資質を育むもの
(5)　家族、地域、郷土を愛する心を育むもの
(6)　社会生活に必要な良識と倫理観念を育むもの
(7)　その他特に青少年の健全育成に役立つもの

(2)　有害図書類指定に関する審議

ア　緊急指定された次の図書類について報告を受けた。

番号	種別	図書類名	発行所	指定日	通知番号
1	雑誌	るんるんナビマガジン MARCH.2026No.284	(有)ﾒﾃﾞｨｯｸｽ	R8.3.6	教社第591号
2	雑誌	実話ナックルズ4月号	(株)大洋図書		
3	雑誌	るんるんナビマガジン APRIL.2026No.285	(有)ﾒﾃﾞｨｯｸｽ	R8.4.2	教社第11号
4	雑誌	るんるんナビマガジン MAY.2026No.286	(有)ﾒﾃﾞｨｯｸｽ	R8.5.11	教社第91号
5	雑誌	実話ナックルズ6月号	(株)大洋図書		
6	雑誌	るんるんナビマガジン JUNE.2026No.287	(有)ﾒﾃﾞｨｯｸｽ	R8.6.5	教社第154号
7	雑誌	るんるんナビマガジン JULY.2026No.288	(有)ﾒﾃﾞｨｯｸｽ	R8.7.7	教社第193号
8	雑誌	実話ナックルズ8月号	(株)大洋図書		
9	雑誌	るんるんナビマガジン AUGUST.2026No.289	(有)ﾒﾃﾞｨｯｸｽ	R8.8.4	教社第239号
10	雑誌	るんるんナビマガジン SEPTEMBER.2026No.290	(有)ﾒﾃﾞｨｯｸｽ	R8.9.7	教社第276号
11	雑誌	実話ナックルズ10月号	(株)大洋図書		

イ　質疑内容

委員：特に意見がないようなので、報告を了承する。

4　閉会